



2019年度内閣府青年国際交流事業

# 「世界青年の船」事業 帰国報告会

## Ship for World Youth Program

2020年6月7日(日) 13:00-16:30

主催：内閣府

(一財)青少年国際交流推進センター  
日本青年国際交流機構



# Time Schedule

13:00-13:10 オープニング

13:10-13:20 基本事業概要

13:20-14:00 「SWY」ってどんなところ？

\*SWY=Ship for World Youth Program(「世界青年の船」事業英語名称)

本事業のプログラムを「経験・学び」の観点から  
6つのテーマに分類し、説明します。

14:00-14:05 休憩

14:05-14:45 参加青年による  
パネルディスカッション

本事業を通して何を学び、何を得たのかということ、  
参加青年がパネルディスカッション形式で報告します。

14:45-14:55 休憩

14:55-15:10 外国参加青年インタビュー

15:10-15:25 クロージング

15:45-16:15 個別相談会

参加青年と報告会視聴者とが質疑応答形式で少人数で話す  
ことのできる機会です。事業への参加を検討している方は、  
試験対策や、心構えなどの相談をすることができます。

## おわりに

最後までご覧頂きありがとうございます。事業では本当に様々なことに挑戦できます。  
事業後には想像もしていなかったような自分に出会えます。ただ、事業が自分を変えてく  
れるのではなく、自分で自分を変えようとしないと変わりません。

この「世界青年の船」事業との出会いが、皆様の人生や考え方を、大きく変えるステキ  
なきっかけになることを願っています。

2019年度「世界青年の船」事業帰国報告会実行委員委員 宮元茉奈佳

MEMO(ご自由にお使いください)

# 応募から乗船まで

1月下旬  
~3月

## 応募

各都道府県の青年国際交流主管課、  
または全国的な青少年団体へ

3月~  
4月

## 1次試験

各都道府県、全国的な青少年団体  
による選考試験

追加募集が行われる年もあります

2020年度「世界青年の船」事業追加募集  
期間：5月7日(水)~6月12日(金)17時です。  
応募方法等、詳しくは、「内閣府青年国際交流事業」で検索！

7月

## 2次試験

内閣府が実施(東京・大阪)  
例年は筆記試験、グループ面接、  
英語面接

9月

## 事前研修

日本参加青年全員との初顔合わせ  
レター・グループ発表  
コース・ディスカッションや委員会  
等の決定

翌年  
1月

## 陸上研修 乗船！

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、  
日程が変更になる可能性があります。詳しくは内閣府ホームページをご覧ください。

# はじめに

本日は、2019年度内閣府青年国際交流事業、「世界青年の船」事業の帰国報告会に参加していただき、誠にありがとうございます。下船後約三か月間、この日のために実行委員一同、オンラインでのミーティングを通じて何度も話し合いを重ね、よりよい報告会を作るために試行錯誤してきました。例年とは異なりオンラインでの開催となつてしまい、皆さんと直接お会いできないのが残念です。短い時間ではありますが、参加して下さった皆さんにとって、有意義な時間になることを願っています。

## 帰国報告会実行委員長



小川 清華(右)

本日は2019年度「世界青年の船」事業帰国報告会にお集まり頂きまして誠にありがとうございます。報告会の実施にあたり内閣府、日本青年国際交流機構、青少年国際交流推進センターの方々、その他関係者の皆様にご支援・ご協力頂きましたことを、この場を借りて御礼申し上げます。報告会を無事に開催できますことを大変嬉しく感じております。私たちは、日本代表の参加青年として約30日間の船上研修と前後10日間の陸上研修を修了しました。10か国から集まった外国参加青年と船上生活を共にしたことは、紛れもなく私たち一人ひとりにとって一生に一度の財産になりました。そして、仕事や学業といった普段の生活とは離れた自由な空間の中で自身の関心の向くままに学び、体験し、語り合った経験は私たちの視野を大きく広げ、参加青年とのかけがえのない繋がりを、日本中そして世界中に作ってくれたと確信しています。大変短い時間ではございますが、私たちが「世界青年の船」で何を体験し、何を得たのか、報告や参加青年との交流を楽しんでいただけたら幸いです。

## 副実行委員長



高尾 いぶき

どこまでも続く広い海の中、初めて乗る大型客船での船旅は一生忘れることのできないものとなりました。特に全11か国の青年と昼夜を通して人生を語り合えたことは強く印象に残りました。

国際交流に興味のある青少年にとって本プログラムは異文化体験の機会をもたらし、グローバル人材となる礎になると感じており、今回の報告会ではそんな「世界青年の船」事業の魅力に参加者の生の声を通して感じていただければ幸いです。



野路 ちひろ(左)

私たちは、日本代表として約30日間の航海を終え、帰国しました。11か国240名の代表青年たちと衣食住を共にし、電波のない太平洋上での学びと感動に溢れた日々は、「世界」が広がるものでした。本日は皆様のご協力があり、帰国報告会を開催できたことに感謝申し上げます。参加青年の報告を通じて本事業の魅力を感じてもらえたら幸いです。

# CONTENTS

## 01 「世界青年の船」 事業とは

- 02 参加国紹介
- 03 日本参加青年内訳・航路
- 04 「世界青年の船」 事業日程
- 05 SWY 用語紹介



## 06 船上活動

- 07 レター・グループ
- 08 コース・ディスカッション
- 10 委員会活動
- 12 セミナー
- 14 クラブ活動
- 16 自主活動
- 18 ナショナル・プレゼンテーション



## 19 寄港地活動

## 22 SWY を終えて

## 24 乗船までの活動

- 24 関西英語勉強会
- 25 過去参加青年主催 40 日後研修



## 26 応募から乗船まで

## 27 おわりに

なお、この資料は 2019 年度の事業内容です。参加国や航路などなどは毎年異なります。

## 過去参加青年主催 40 日後研修

この研修は 2018 年度参加青年方々が私たちのために企画・運営してくれました。事前研修から約 40 日後に、東京と奈良で一泊二日の合宿形式でした。

この 40 日というのは、船上生活とほぼ同じ日数であることにかけて設定してくれ、乗船までに何をしたらいいのか、みんなは何をしているんだろう…。とここでしか言えない本音も吐露できる充実した研修内容でした。

### In 東京 @ 国立オリンピック記念青少年総合センター

私は下船後、何をしたらいいのだろう？という疑問を常に持っていました。2018 年度に参加したの先輩方が私たちに対して開いてくれた合宿は 1 つの事後活動の形を見せてくれました。9 月の事前研修から 1 月のプログラム開始までの間にもう一度仲間に実際に会えたことで少し迷っていた気持ちを払拭し、先輩方からも沢山のヒントをいただきました。偶然にも約 30 年前の方たちの同窓会も行われていたため、今までに参加した人たちのつながりの強さや温かさに触れることができ、代表青年として参加できることをうれしく思いました。

大西 小百合



### In 奈良 @ 奈良市青少年野外活動センター

2018 年度参加青年が主催の一泊二日で行われた研修です。研修内容は、「世界青年の船」事業をイメージすること、自信をつけること、計画をたてることをテーマで行われました。出航までに何をすべきなのか分からない不安が解消され、先輩方に気軽に相談ができとても心強い存在になりました。また、キャンプファイヤーで火を囲んで歌い踊り、飯盒炊飯を行うことでみんなの距離がグッと縮まりました。この研修を通して、船に向けての目標と計画をたて、そこに向けて応援してくれる先輩と一緒に励まし合う仲間ができました。家族のような温かい時間を過ごし、出港日には見送りに来てくれました。

橋本 佳代子

